



宗教法人日本キリスト教団片瀬教会付属
片瀬のぞみ幼稚園
 Katase Nozomi Kindergarten

片瀬のぞみだより

2018年4月号

家庭通信 2018 No.

2018 年度主題聖句

「愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、

わたしたちも互いに愛し合うべきです。」（ヨハネー 4 : 11）

牧師（設置者）磯部理一郎

片瀬のぞみ幼稚園の園児の皆さん、保護者の皆さん、ご入園そしてご進級、おめでとうございます。こころよりお喜び申し上げます。新年度を迎えた片瀬教会付属片瀬のぞみ幼稚園ようこそ！園を挙げて皆さんをお待ちしておりました。とくに、年長のはと組さん、年中のすずめ組さんは、お兄さんお姉さんとして、年少のひよこ組の皆さんのご入園を心待ちにしており、大歓迎をしてくださることでしょう。

片瀬のぞみ幼稚園はプロテスタントのキリスト教の幼稚園です。イエス・キリストという神さまの愛で、見えない心や命をお育ていただく幼稚園です。神さまは、いつも、園児ひとりひとりの人格を無限の愛でお守りくださり、どんなときにも味方となって、神さまが成長させてくださる、ということを信じて保育を行います。神さまの愛により、こどももおとなも皆一緒に、共にお育ていただく幼稚園です。ですから、神のさまの大きな愛の内に、みんな一つに包まれています。先ずこどもたち園児の皆さんが、次いで保護者の皆さんやご家庭が、そして幼稚園教職員や教会も共に育ち成長させていただく「愛されて育つ場」と言ってもよいと思います。神さまから見れば、みんなが生涯、生まれる前から死んだ後も、大きな神さまの愛

に包まれており、だれひとりとして、神さまの愛から漏れたり、外れたりすることはありません。反対にこどもたちひとりひとりから見れば、神さまの家族のひとりとして、兄弟姉妹、お父さんお母さんも、みんなそれぞれが、神さまの無限の愛に包まれて、ちょうど同じ一つの太陽のもとで、その光をいっぱいに浴びて、それぞれが掛け替えのないオンリー・ワンとして尊厳豊かに、自由で個性豊かな自己を実現してゆく場でもあります。神さまを覚える礼拝も、また泥まみれで皆と遊ぶ遊びも、中心を貫くのは、見えない神さまの愛と力あるみわざです。それによって心や体、人格が豊かに力強く養い育てられるからです。

人の成長には、先ず「ヒト」(ホモ・サピエンス)として確かな継承と成長発達が求められます。二本足での直立歩行や走行ができ、親指と人差し指を向かい合わせて道具を巧みに使うこなせる、また平面左右に並んだ眼で適切な距離を図り精密な行動計画のもとに行動する、また高度な声帯を活用して集団とコミュニケーションを取り合うことで、世代を超えて協力し合い、組織的に文明文化や国家社会を構築しています。そうした高度に進化した無数の器官をネットワークしつつ、自己と他者の関係性を的確に認知自覚し、成長の根幹を支える臓器こそ脳です。こうしたネットワーク機能の発達なやりとりで、人は生き成長し、自己実現を可能としています。しかしその脳の中核で、人を活かし人を動かす原動力、いわば生きる力の源泉が、「愛されている」という基本原理です。心理学では「愛着(アタッチメント)」として、ボウルビーというフロイト派精神科医による理論です。生きる原点は、身近な人々に深く愛され守られている(愛着)、だから自分は安全に生きられる(安全基地)、安全ならばもっと自分が自分としての世界を広げてゆける(探索行動)というふうに、脳の中核から生きる行動を開始するのです。子育ての最も大切な事として、いつ・どんな時にも「愛されている」確認が求められています。親子でも夫婦でも職場でも、全く同じなのです。愛されることで、愛する力も生まれ、愛され愛する、つまり愛し合うことで、社会という大きな関わりの中で共に生き、共に大きな仕合わせを分かち合えるような、社会的人格を形成するようになります。

3歳さんは、初めて「集団」に入ります。「自己」が確立できたから「集団」に入れるのでは全くありません。逆に「集団」に入ること、本当の意味で「自己」が明らかにされ鍛えられ基礎づけられます。ですから当分は号泣の日々です。4歳は、未熟ながらも自己とお友達とのコミュニケーションを巧みに用いて、集団の中で「関係性」構築のチャレンジです。初めて「他者」と出会い、他者との「関係性」を築く鍛錬が待っています。5歳さんはいよいよ幼稚園というこども社会全体のリーダーとして、計画的に組織的にそして意図的に、集団と関わり、その多様な関わりの中で、自己を位置づけ、どう協力すれば集団や特定のお友達に役立つのか、反対に、どうかかわれば、いよいよ自己実現可能となるのかを絶えず深く考察しながら、集団運営に着手していきます。年少、年中、年長の発達の違いをよく分かってきます。こうした学びを体験的に支えてくれるのが、集団での遊びです。まさに無限にそして自由に展開する遊びこそが、アクティブラーニングそのものだと言ってよいと思います。さあ、いよいよ園児の皆さん、保護者の皆さんを含めて、ひとりひとりの大胆で豊かな成長のチャレンジが始まります。どうか、園児ひとりひとりがそれぞれのチャレンジを背負いながら、成長の扉を開いてくださるのを、

園を挙げて応援できますことを、心より感謝しつつ、その成長を見守らせて戴きたいと存じます。

* * * * *

牧師（設置者）プロフィール１ 磯部理一郎（いそべりいちろう） 1952.

12. 24. 鎌倉湘南生。神学（東京神学大修士）教育発達（和歌山大修士）脳機能（大阪市立大博士）を学び、東京、大阪近畿、九州の大学、中学高校、幼稚園で、管理職および教職（英語・宗教・特別支援の専修免許）また牧師。そして現職に。趣味：柔道、音楽鑑賞（モーツァルト）、ちょっとだけメドック赤。

牧師プロフィール２ 磯部紀代子（いそべきよこ） 1955. 11. 6. 生。隅田川のほとりで生まれ育つ。旧三菱銀行本部（人事部）勤務を経て、神学（東京神学大）を学び牧師に。自由が丘教会を初め、東京、九州、和歌山の教会・幼稚園に勤務（幼稚園教諭一種）。2児の母。とはいえ既に30代半ばの数学教師。趣味：かつては軟式テニス、今は食と食。園庭の牧師館に在住。